

まちづくりやボランティアなどに参加している
地域活動の担い手をシリーズで紹介します

皆さんの地域では、ごみステーションからごみがあふれている、ルール違反のごみが捨てられているなど、困ったことはありませんか？
今回は、自分たちの住むまちをきれいにするために行われている、町内会の活動について紹介します。

みんなできれいに！ ごみとまち



花植えや清掃活動で
きれいなまちに

篠路新生町内会（進藤幸司^{しんどうこうじ}会長）では、ごみステーションの清掃活動はもちろんのこと、道路の植樹升に花を植えたり空き地の草刈りをしたりと、さまざまな活動を行っています。ごみステーションに限らず、まち全体をきれいな状態にしておくことで不法投棄などもほとんどないそうです。

また、町内の元農家の方から古いコンテナを譲り受けてごみステーションに設置したり、町外からの持ち込みごみが多かったごみステーションを移動するなど、地域の人たちが工夫し、協力しながら地域の美化に努めています。

「花壇清掃など、お願い



毎回たくさんの方が参加する花壇清掃

しなくてもたくさんの方が参加してくれれます。皆さん積極的で、とても楽しそうに作業をしていますね」と話す進藤会長。

また、日ごろから地域の交流を深め、盆踊りなどの行事の時や、道で会った時にごみの話をすることも。地域の人みんなが、自分のまちをきれいにするためにはどうしたらよいかを考え、ごみステーションが散



ごみステーションを見回る進藤会長（右端）

らかっていたら片付けるなど、自主的に行動をします。
進藤会長は「町内会ができたときから、まちの美化に力を入れて活動してきた歴史があります。これからも大切にしていきたいですね」と語ります。長年守ってきたきれいなまちへの誇りが感じられました。